



にこにこだより

令和6年11月1日 ちゅうりっぷ組担任



少しずつ秋が深まり、戸外あそびやお散歩が気持ちよい季節になりました。お散歩では、園周辺を散策しながら柿やみかんなど季節の果物を見つけたり、カタツムリや犬を見つけたりしながら楽しむ姿が見られます。少しずつ歩ける距離も増え、保育者だけでなく、友だちとも上手に手を繋いで歩けるようになってきました(*^^*)今月も体をたくさん動かし、元気いっぱい過ごしたいと思います！



音楽会頑張りました！



大きな舞台にドキドキな子ども達。保護者の人と離れる時や普段と違う雰囲気戸惑い、泣いてしまう子どももいましたが、舞台の上では手あそびやお遊戯などを頑張ることができました(*^^*)この経験を通して、またうんと大きく逞しくなりましたね☆温かく見守ってくださりありがとうございました！

＊きのこを作ったよ＊

自分で指にのりを付け、紙にペタペタ。可愛いきのこが完成しました！



＊消防車と救急車発見！＊

消防署までお散歩に行きました。間近で見る消防車や救急車は子ども達が思うより大きかったようで緊張気味でした（笑）



＊秋の遠足＊

カートに乗ったり、順番に手を繋ぎながら歩いて桜堤に行きました。公園では滑り台をしたり、お花や虫を見つけて楽しむ子どもたち♪帰ってからはお楽しみのお弁当！「おいしいな～♡」と言いながらパクパク頬張っていました！お弁当などのご準備ありがとうございました。



＊子ども達が好きな

歌(手あそび)のご紹介＊

♪やきいもグーチーパー

音楽に合わせてノリノリな子ども達。最後のジャンケン、子ども達も元気よく「(ジャンケン) ポーン！」と言いながら楽しんでいます♪ぜひお家でも一緒にやってみてくださいね(*^^*)



11月生まれのお友だち

3名のお友だちが
2歳になります。

2歳のお誕生日おめでとう！

→裏面もご覧ください。

☆足と靴の話し☆

今回は、子ども達の“靴”の選び方についてお話してみようと思います。

▼子どもの足について▼

- 子どもの足は成長ペースが速い。
特に3歳くらいまでは、3ヵ月おきぐらいで適正サイズかどうか確認することが必要。
- 子どもの足は個人差が大きい。
同じ歳で比較しても、足の指や足幅の大きさ、土踏まずの形成などは様々で合う靴のサイズは変わる。
- 成長に合わせた靴の選び方が大事。
成長期の子どもの足は足が形成期間である為、「やわらかい」状態。
足に合わない靴は足の発達を阻害するだけではなく、膝や腰、内臓の働きに影響してしまうことも。

▼正しい靴選びのポイント▼

- 甲の部分がしっかり密着しているもの
調節できる、紐かワンタッチテープのタイプがおすすめ。
靴の甲をしっかり締めて、自然な歩行をさせることが大切です。
- かかとのまわりがしっかりしているもの
かかとが支えられているかをチェック。
足が靴の中で動かないよう固定することで、安定した歩行ができます。かかとの骨をしっかりと成長させるためにも、かかと部分がしっかりしているものが良いでしょう。
- つま先の部分は広さ、指が自由に動かせるゆとりが必要
足指を自由に動かせる余裕は必要です。
指の腱や筋肉の発達も考え、幼児期に指を十分動かしてあげることが大切です。また、子どもの歩行の仕方の関係上、つま先が適度にそり上がっているものをおすすめします。
- 靴底(ソール)が指の付け根でしっかりと曲がるもの。
厚すぎる靴底は子どもの足の発達を妨げるため、柔らか素材をオススメします。
靴と足が曲がる位置のズレがないかのチェックも必要です。

【参考資料 <https://www.rakuten.ne.jp>】

～発達時期の子ども達の靴選びの参考にしていただければと思います～